

【バージョンアップ】 統合開発環境 e² studio 2024-04

R20TS1009JJ0100
Rev.1.00
2024.04.16号

概要

統合開発環境 e² studio を 2024-01.1 から 2024-04 へバージョンアップします。

主な機能改善・変更は以下になります。

- Eclipse/CDT 環境のアップグレード
- 新デバイスに対応：DA14706
- デバイスファイルの更新：RL78、RH850 ファミリ
- スマート・コンフィグレータの機能改善
- ビルダおよびデバッグ機能の改善
- macOS 版の機能改善

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. アップデート対象バージョン

- e² studio 2020-04 から 2024-01.1 までの各バージョン

e² studio のバージョンは、e² studio のメニュー「ヘルプ」から、「e² studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。
リリースノートは e² studio 製品ページの「ドキュメント」に掲載されます。
(4月22日から公開予定)

<https://www.renesas.com/jp/ja/search?keywords=R20UT5467>

2.1 新規機能、機能改善

以下の機能につき改善および変更を行いました。

改善内容の詳細は前述のリリースノートの "What is new in 2024-04?" をご参照ください。

2.1.1 eclipse/CDT 環境のアップグレード

eclipse および CDT(C/C++ Development Tooling)の新バージョンが適用されます。
詳しくは以下の資料をご参照ください。

e ² studio バージョン	2024-01.1	2024-04	
eclipse	4.29(2023-09)	4.30(2023-12)	Eclipse Project 4.30
JRE(JustJ)	17.0.8	17.0.10	JustJ JREs
OpenJFX	17.0.6	21.0.2	OpenJFX
CDT	11.3.1	11.4.0	CDT New & Noteworthy

2.1.2 対応デバイスの更新

- e² studio 2024-01 では DA14706 のサポートが追加されました。DA1470x SDK プロジェクトインポートとデバッグ機能をサポートします。ビルドについては同 SDK のビルド環境をお使いください。詳細は [DA1470x SDK10.2.4.44 Release Note](#) をご参照ください。
- RL78 ファミリのデバイスファイル更新 : RL78/G15、RL78/G16、RL78/G23、FGIC の各デバイスグループ
- RH850 ファミリのデバイスファイル更新 : RH850/U2A および RH850/U2B グループ
- RISC-V MCU について SVD と iodefines ヘッダファイルでのレジスタ記述を更新

2.1.3 スマート・コンフィグレータの機能改善

以下のバージョンのスマート・コンフィグレータに対応しました。

- ◇ スマート・コンフィグレータ for RX V2.21.0
- ◇ スマート・コンフィグレータ for RL78 V1.10.0
- ◇ スマート・コンフィグレータ for RH850 V1.11.0
- ◇ スマート・コンフィグレータ for RISC-V MCU V1.1.0

詳しくはスマート・コンフィグレータのリリースノートをご参照ください。

2.1.4 ビルダの機能改善

e² studio 2024-04 では以下のビルダ機能を改善しました。

- Linux 環境で以下のコンパイラ製品が利用可能になりました。インストール方法については各製品の添付文書(Readme)を参照してください。スタック解析ビューもご利用いただけます。
 - ◇ CC-RX V3.06.01
 - ◇ CC-RL V1.13.01
 - ◇ CC-RH V2.06.01
 - ◇ ライセンス・マネージャ V2.07.00
- DA1453x SDK のプロジェクトで LLVM for Arm toolchain に対応
- LLVM for Arm のプロジェクト設定画面で -Ofast オプションを選択できるようになりました。

2.1.5 デバッガの機能改善

e² studio 2024-04 では以下のデバッガ機能を改善しました。

- RX および RL78 デバッガの GDB バージョンを 12.1 に更新しました。これに伴い GDB が使用する Python バージョンが 2.7 から 3.10 にアップグレードされます。
- RISC-V MCU デバッガの設定に一時停止(halt)してのメモリ読み出しを許可する・しないを選択できるオプションを追加しました。この設定は E2/E2 Lite、J-Link 共に利用可能です。

2.1.6 macOS 版の機能改善

macOS 版の e² studio 2024-04 では以下の機能を改善しました。

- macOS 14 (Sonoma) に対応しました。
- macOS 環境で GCC for RX および LLVM for RL78 プロジェクトのビルドおよびデバッグが可能になりました。

3. アップデート方法

e² studio の製品ページ(下記の URL)からインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。(2024-04 は 4 月 22 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio>

インストーラは「ドキュメント&ダウンロード」の Downloads 欄内に掲載されております。

注意 1 : e² studio 2022-10 またはそれ以前(Java 11 以前)のバージョンをお持ちの場合「**アップグレード**」による**更新インストールを使わず**新しい場所にインストールしてください。

インストール先のフォルダパスに全角文字、半角カナ文字、および”_”(アンダースコア)以外の記号が含まれないようにしてください。

注意 2 : 本製品の Windows 版は 64 ビット版 Windows OS で使用できますが 32 ビット版の Windows OS では動作しません。

注意 3 : FSP/SSP をサポートするデバイスファミリおよびデバイスグループ(RA, RZ/T2x, RZ/N2x, RZ/A2x, RZ/A3x, RZ/G2x, RZ/V2x and Renesas Synergy™)については、ソフトウェアパッケージが同梱されたインストーラをお使いください。

ソフトウェアパッケージやインストーラは以下のサイトから探すことができます。

ソフトウェア - ミドルウェア, ドライバ, OS:

<https://www.renesas.com/design-support/software>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jan.16.24	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。